

事業シート(平成30年度決算)

事業名	62100 観光宣伝推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	6	商工費		個別分野	1	観光	
			項	2	観光費		施策概要	1	地域の魅力が伝わる観光地づくり	
			目	1	観光振興費		根拠計画	高山市産業振興計画		
担当課	商工観光部 観光課	内線	2217							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて行い、高山への来訪を促進する。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR用のパンフレットやポスターなど宣伝ツールを作成する。 ・各種キャンペーンや物産展などへの出向による誘客宣伝活動を実施する。 ・関係自治体や民間事業者と連携したPR活動を展開する。 ・継続的なイベントや関係団体事業の支援(協賛広告)による誘客宣伝を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	462万人	444万人	452万人
観光客入込者数(日帰り)(年間)	241万人	221万人	214万人
観光客入込者数(宿泊)(年間)	221万人	223万人	238万人
観光客消費額(年間)	940億円	933億円	790億円
「観光客で市内がにぎわしい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	88.9%	87.2%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		14,033	13,325	16,430	16,448	13,844	519
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(入湯税、広告事業雑入等)	13,620	13,325	15,370	15,370	13,844	519
一般財源		413	0	1,060	1,078	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	観光パンフレット等の作成	9,923	9,616	10,000	10,000	7,963	△ 1,653
◎ 1	総合パンフレット概要版の作成			2,130	2,130	2,086	2,086

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		24,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
15,547	14,300	14,300	△ 2,130	
15,020	13,822	13,822	△ 1,548	
527	478	478	△ 582	
査定額	説明			
10,000	総合パンフレット、ぶらり散策マップ、観光ポスターほか			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR用パンフレット、ポスターなど情報発信ツールを作成し、観光キャンペーン等で活用した。 ・物産展や旅行エージェンツ、メディアを活用した誘客宣伝を積極的に実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的なキャンペーン活動や大手旅行エージェンツへの誘客宣伝のほか、高山祭の屋台行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念した「高山祭屋台の総曳き揃え」や、飛騨一之宮水無神社で57年ぶりに開催された「飛騨の大祭」など特別イベントが開催されたことにより、平成29年の観光客入込者数が462万3千人と過去最高となった。 ・観光客の入込者数は年々増加傾向にあるが、多様化する観光客のニーズを把握し、ターゲットを絞った戦略的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行者のニーズや観光動向を把握し、より効果的な誘客宣伝を実施する。 ・ターゲットを絞った情報発信や新たな客層の掘り起こしなど戦略的な誘客活動をすすめる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR用パンフレット、ポスターなど情報発信ツールを作成し、観光キャンペーン等で活用した。 ・物産展や旅行エージェンツ、メディアを活用した誘客宣伝を積極的に実施した。 ・総合パンフレット概要版データを作成した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的なキャンペーン活動や大手旅行エージェンツへの誘客宣伝を展開したことなどが奏功し、平成30年の観光客入込者数が444万となった。 ・観光客の多様化するニーズを把握し、ターゲットを絞った戦略的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行者のニーズや観光動向を把握し、より効果的な誘客宣伝を実施する。 ・ターゲットを絞った情報発信や新たな客層の掘り起こしなど戦略的な誘客活動をすすめる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて推進するため、国内向けの誘客宣伝、誘客対策に係る経費を計上
財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	62100 観光宣伝推進事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工観光部 観光課
枝番・内容	1 総合パンフレット概要版の作成		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線	2217	
		<input type="checkbox"/>		目		1	観光振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・配布しやすい総合パンフレットの概要版を新たに作成し、幅広く活用することで潜在的観光客の掘り起こしを行い、観光情報の宣伝強化を図る。	概要	・飛騨高山の魅力を数ページにまとめた総合パンフレットの概要版を作成する。 ・デザイン案は広く募集し、プロポーザル審査会にて受託事業者を選考する。
----	--	----	---

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	2,130
主な経費	・プロポーザル審査会の開催 ・デザイン委託料	
	対前年度増減額(当初予算)	
		2,130

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) H31.8時点 (千円)

予算額	当初	2,130
	繰越	0
	補正等	0
	最終	2,130
決算額		2,086
対前年度増減額(決算)		2,086

H31当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> 概要版の作成(業務委託) プロポーザル方式によるデザイン案(受託事業者)の選考 仕様等:A4判 8ページ(予定) 作成部数:年間20万部印刷(平成31年度から) 概要版の活用 SA、イベント・キャンペーン、旅行社など、主に市外で広く配布 (市外の旅行社などにも積極的に設置を依頼) 	
[スケジュール]	
<ul style="list-style-type: none"> ・4月26日～5月24日 デザインの募集 ・6月上旬 デザイン等選考委員会の開催(受託候補者選考) ・6月下旬 委託契約締結 ・6月下旬～1月 委託業務の実施(写真等素材収集、デザイン作成) ・2月～ 概要版の印刷、活用 	

事業実績・評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> ・受託事業者の選考 ・概要版データの作成(業務委託) 仕様等:A5判 16ページ 	
[評価]	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客にとって分かりやすく、観光需要の喚起に資するパンフレットを作成することができた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・概要版の活用 SA、イベント・キャンペーン、旅行社など、主に市外で広く配布(市外の旅行社などにも積極的に設置を依頼) <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	

事業シート(平成30年度決算)

事業名	62110 高山祭事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	6	商工費		個別分野	1	観光	
			項	2	観光費		施策概要	2	滞在型・通年型の観光地づくり	
			目	1	観光振興費		根拠計画	高山市産業振興計画		
担当課	商工観光部 観光課	内線	2219							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 高山祭の認知度の向上と来訪者の増加を図る。 高山祭を安全に実施する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 祭協賛会組織への支援による官民一体となった誘客宣伝を実施する。 観光客の安全な誘導に必要な資材の調達や警備の実施など来訪者の受入態勢を整備する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	462万人	444万人	452万人

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		6,190	6,160	6,500	6,500	6,067	△ 93
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		6,190	6,160	6,500	6,500	6,067	△ 93
個票枝番	主な事業内容						
	高山祭協賛会に対する助成	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	0
	案内本部の運営	3,670	3,636	3,980	3,980	3,532	△ 104

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		5,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
8,189	6,570	6,570	70	
8,189	6,570	6,570	70	
査定額	説明			
2,000				
4,020				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光キャンペーンや高山駅前にのぼり旗を設置するなど事前PRを実施した。 祭会場内に案内本部や誘導看板を設置し、観光客等が安全に安心して観光できる環境を提供した。 祭協賛会への支援を通じ官民一体となった取り組みを行った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピック等経済界協議会から通訳ボランティアの協力を得たことにより、外国人観光客へのスムーズな対応ができた。 交通規制を警察の規制から自主規制に変更したことにより、規制区域内への乗り入れに関する許可手続きが不要となり、地域住民の負担軽減を行うことができた。 春祭、秋祭共に2日間の期間中1日は休日と重なり、春祭は21万2千人、秋祭は22万人と多くの人出となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客の対応を強化し、国内外から観光客の誘致を図る。 安全、安心な事業実施と観光案内を実施する。 ユネスコ無形文化遺産登録や日本遺産認定を契機とした、文化の伝承を意識した誘客活動をすすめる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光キャンペーンや高山駅前にのぼり旗を設置するなど事前PRを実施した。 祭会場内に案内本部や誘導看板を設置し、観光客等が安全に安心して観光できる環境を提供した。 祭協賛会への支援を通じ官民一体となった取り組みを行った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピック等経済界協議会から通訳ボランティアの協力を得たことにより、外国人観光客へのスムーズな対応ができた。 春祭は19万8千人、秋祭は19万2千人と多くの人出となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客の対応を強化し、国内外からの観光客の誘致を図る。 安全、安心な事業実施と観光案内を実施する。 ユネスコ無形文化遺産登録や日本遺産認定を契機とした、文化の伝承を意識した誘客活動をすすめる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 安心して高山祭が見学できるよう、観光客等の案内及び安全確保に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	62120 観光誘客推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・女性グループ、親子連れ、シニアグループなどを始めとした様々な国内外観光客層に、それぞれに適した活動プラン(体験プラン)の提供やおもてなしの充実を図り、個人観光客の増加に努めます。
			款	6	商工費		個別分野	1	観光		
			項	2	観光費		施策概要	1	地域の魅力が伝わる観光地づくり		
			目	1	観光振興費		根拠計画	高山市産業振興計画			
担当課	商工観光部 観光課	内線	2218								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山訪問の動機づけや周遊型・滞在型観光の魅力の向上を図り、多くの観光客や教育旅行を誘致する。	概要	・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した誘客活動を展開する。 ・飛騨高山観光客誘致推進協議会による官民一体となった誘客事業を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	462万人	444万人	452万人
観光客入込者数(日帰り)(年間)	241万人	221万人	214万人
観光客入込者数(宿泊)(年間)	221万人	223万人	238万人
観光客消費額(年間)	940億円	933億円	790億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		16,000	16,000	16,000	16,000	0
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(入湯税)	16,000	16,000	16,000	16,000	0
一般財源			0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容					
	飛騨高山観光客誘致推進協議会負担金	16,000	16,000	16,000	16,000	0
	高山祭屋台の特別曳き揃え実行委員会負担金					

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		16,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
16,000	26,000	26,000	10,000	
16,000	26,000	26,000	10,000	
0	0	0		
査定額	説明			
16,000				
10,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した様々な誘客活動を実施した。 ＜主な取り組み＞ ・テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した宣伝 ・交通事業者と連携した観光キャンペーン ・岐阜県や姉妹友好都市等と連携した観光キャンペーン ・教育旅行エージェント訪問やパンフレット、ホームページ等による情報発信 ・旅行博への出展 ・高根トンネルの開通を契機とした長野県伊那市及び木曾町との連携事業の実施 ・映画「氷菓」の全国公開を記念した高山上映会の開催
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった首都圏をはじめとする都市部や北海道、九州などでのキャンペーン活動を積極的に展開したほか、様々な媒体を活用した情報発信により、全国各地から多くの観光客が高山市を訪問され、平成29年の観光客入込者数が、対前年比2.48%増の462万3千人となり過去最高の入込みとなった。 ・国内最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン」に出展し、高山市の魅力を広く発信することができた。(主催者発表入場者数 191,5770人) ・高根トンネルの開通を契機とした誘客事業を、官民一体となって実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった誘客事業を継続する。 ・支所地域の観光関係団体との連携を強化する。 ・旅行者のニーズや観光動向に対応した効果的な誘客活動を実施する。 ・ターゲットを絞った情報発信や新たな客層の掘り起こしなど戦略的な誘客活動をすすめる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した様々な誘客活動を実施した。 ＜主な取り組み＞ ・テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した宣伝 ・交通事業者と連携した観光キャンペーン ・岐阜県や姉妹友好都市等と連携した観光キャンペーン ・教育旅行エージェント訪問やパンフレット、ホームページ等による情報発信 ・旅行博への出展 ・高根トンネルの開通を契機とした長野県伊那市及び木曾町との連携事業の実施 ・公開番組収録「出張！なんでも鑑定団in高山」
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった首都圏をはじめとする都市部などでのキャンペーン活動を積極的に展開したほか、様々な媒体を活用した情報発信により、全国各地から多くの観光客が高山市を訪問され、平成30年の観光客入込者数が、444万人となった。 ・国内最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン」に出展し、高山市の魅力を広く発信することができた。(主催者発表入場者数 207,352人) ・高根トンネルの開通を契機とした誘客事業を、官民一体となって実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった誘客事業を継続する。 ・支所地域の観光関係団体との連携を強化する。 ・旅行者のニーズや観光動向に対応した効果的な誘客活動を実施する。 ・ターゲットを絞った情報発信や新たな客層の掘り起こしなど戦略的な誘客活動をすすめる。 ・高山祭屋台の特別曳き揃えを活用した誘客を展開する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など、民間団体と連携した誘客活動を展開するために必要な経費を計上

財務部査定の考え方	・高山祭屋台の特別曳き揃えに必要な経費を計上
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成30年度決算)

事業名	62130 飛騨高山ウルトラマラソン開催事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
	款	6	商工費	個別分野		1	観光						
	項	2	観光費	施策概要		2	滞在型・通年型の観光地づくり						
	目	1	観光振興費	根拠計画		高山市産業振興計画							
担当課	商工観光部	観光課	内線	2218									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域のPR、新たな観光客の獲得及び地域経済活性化を図る。	概要	・飛騨高山ウルトラマラソンを開催する。 ・各種団体や企業、市民ボランティアなど官民一体となった取り組みを行う。 ・大会に必要な物資等について市内を最優先として調達する。
----	-------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29		H30			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	1,000	1,000	1,200	1,200	1,200	200
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(入湯税)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,200	200
一般財源		0	200	200	0	0
個票枝番	主な事業内容					
	飛騨高山ウルトラマラソン実行委員会負担金	1,000	1,000	1,200	1,200	200

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,700	1,700	1,700	500	
1,000	1,000	1,000	0	
700	700	700	500	
査定額	説明			
1,700				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・第6回飛騨高山ウルトラマラソンを開催し、全国各地から3,263人が参加した。 ・エイドステーションにおいて飛騨牛など特産品を提供し、おもてなしの取り組みを通じ飛騨高山のPRを行うことができた。 ・第7回大会に向けた参加者の募集等を行い、3月末までに3,400人を超える応募があった。
評価等	・募集人数を前回大会より300人増の3,300人に拡大し、過去最高の参加人数となった。 ・アンケートでは半数以上が複数回出場しており、他の大会に比べ効果も高く好評を得ている。 ・年々参加者が増加しており、大会の開催による市内への経済波及効果は高い。 ・応援者も多数同伴されており、魅力的な地域資源を活用したマラソン大会を開催することで、観光客の拡大に結び付いている。 ・参加人数の増加に伴い、駐車場や宿泊施設の確保、コースの安全確保などが課題となっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	・第7回飛騨高山ウルトラマラソンを開催し、全国各地から3,457人が参加した。 ・エイドステーションにおいて飛騨牛など特産品を提供し、おもてなしの取り組みを通じ飛騨高山のPRを行うことができた。
評価等	・募集人数を拡大し、過去最高の参加人数となった。 ・年々参加者が増加しており、大会の開催による市内への経済波及効果は高い。 ・応援者も多数同伴されており、魅力的な地域資源を活用したマラソン大会を開催することで、観光客の拡大に結び付いている。 ・参加人数の増加に伴い、駐車場や宿泊施設の確保、コースの安全確保などが課題になっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・飛騨高山の魅力PRするためのおもてなしに必要な経費の計上

財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	62140 観光協会等助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・支所地域の資源や魅力を活用し、高山駅周辺などの中心市街地と支所地域が結ばれた市内観光ネットワークの構築に努めます。また、中部圏の広域観光ネットワークを拡充し、高山市が中部圏の広域観光拠点となるような機能整備に努めます。
			款	6	商工費		個別分野	1	観光		
			項	2	観光費		施策概要	2	潜在型・通年型の観光地づくり		
			目	1	観光振興費		根拠計画	高山市産業振興計画			
担当課	商工観光部 観光課	内線	2216								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・様々なツールを活用して飛騨高山を広く国内外にPRし、観光業の振興及び年間を通じた観光客の誘致促進を図る。	概要	・観光関連団体や観光関連事業主催者の取り組みを支援する。
----	---	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	462万人	444万人	452万人
観光客入込者数(日帰り)(年間)	241万人	221万人	214万人
観光客入込者数(宿泊)(年間)	221万人	223万人	238万人
観光客消費額(年間)	940億円	933億円	790億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29			H30			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	173,563	163,362	175,563	171,072	163,031	△ 331	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(入湯税、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	173,000	163,362	175,000	171,000	163,031	△ 331	
一般財源	563	0	563	72	0	0	
個票枝番	主な事業内容						
	コンベンション誘致に対する助成	6,063	6,063	6,063	6,063	0	
	コンベンション開催に対する助成	22,500	14,662	22,500	18,009	△ 2,178	
	観光客誘致推進に対する助成	100,000	100,000	100,000	100,000	0	
	観光イベント開催に対する助成	29,000	27,000	31,000	31,000	1,757	
	観光協会の運営に対する助成	16,000	15,637	16,000	15,727	90	

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		174,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
175,563	171,063	171,063	△ 4,500	
175,000	171,000	171,000	△ 4,000	
563	63	63	△ 500	
査定額	説明			
6,063				
18,000				
100,000				
31,000				
16,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金 イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金 観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金 飛騨・高山コンベンションビューロー助成事業 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成 コンベンション開催支援事業 コンベンション開催数:81件、参加者数(飛騨地域を除く):16,873人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 様々な誘客キャンペーンやイベント等を実施した結果、観光客入込数は順調に伸びており、平成29年の観光客入込者数が462万3千人と過去最高となった。 コンベンション開催支援補助金の開催件数は増加しているものの、小規模なコンベンションが多く参加者数及び交付金額は前年を下回る結果となった。大規模な大会や国際会議等を積極的に誘致する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 <ul style="list-style-type: none"> 引き続き民間団体の取り組みを支援し、より効果のある事業を実施する中で観光客の誘致活動を積極的に行っていく。

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金 イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金 観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金 飛騨・高山コンベンションビューロー助成事業 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成 コンベンション開催支援事業 コンベンション開催数:80件、参加者数(飛騨地域を除く):14,309人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 様々な誘客キャンペーンやイベント等を実施した一方、観光客入込数は豪雨等の影響もあり、平成30年は444万人(対前年比△3.92%)となったが、5年連続で400万人を超えた。 コンベンションは、更に大規模な大会や国際会議等を積極的に誘致する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 <ul style="list-style-type: none"> 引き続き民間団体の取り組みを支援し、より効果のある事業を実施する中で観光客の誘致活動を積極的に行っていく。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・観光関連団体や観光関係事業への支援に係る経費を計上

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成30年度決算)

事業名	62150 観光振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・飛騨山脈を活用した国際山岳観光の振興に努めます。また、温泉ガストロノミーツーリズム(温泉地内を歩き巡って、地元食材を食べて、温泉を楽しむツアー)やクアオルトウォーキング(自然・気候・地形を活用した健康療法)などによる誘客に努めます。
			款	6	商工費		個別分野	1	観光		
			項	2	観光費		施策概要	2	潜在型・通年型の観光地づくり		
			目	1	観光振興費		根拠計画	高山市産業振興計画			
担当課	商工観光部 観光課	内線	2216								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	戦略的な観光施策を展開し、観光振興によるにぎわいの創出を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的な観光施策を推進する。 ・情報通信技術を活用した積極的な観光情報の発信を行う。 ・ユニバーサルデザインに基づく観光案内の整備を行う。 ・各種協議会などを活用した広域的な観光客誘致促進事業を展開する。 ・観光統計や交通量調査等による観光関連データを収集する。 ・携帯端末や専用機器を活用し、様々なニーズに対応した観光情報を発信する。 ・各種協議会への参加を通じた積極的な誘客活動を展開する。
----	---------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標		H29実績	H30実績	H31目標
観光客入込者数(年間)		462万人	444万人	452万人
観光客入込者数(日帰り)(年間)		241万人	221万人	214万人
観光客入込者数(宿泊)(年間)		221万人	223万人	238万人
観光客消費額(年間)		940億円	933億円	790億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	H29		H30			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)	31,684	27,724	33,982	33,964	29,481	1,757
特定財源				0	150	150
国費()						
県費(清流の国ぎふ推進補助金)						
その他(入湯税、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	9,300	5,977	2,800	2,800	14,819	8,842
一般財源	22,384	21,747	31,182	31,164	14,512	△ 7,235
個票枝番	主な事業内容					
	各種協議会負担金	14,607	14,352	14,452	14,453	101
	芸妓育成に対する助成	1,500	1,380	1,500	1,500	120
◎ 1	観光動態調査			5,000	5,000	1,500
◎ 2	奥飛騨温泉郷活性化基本構想の策定			5,170	5,170	5,037
◎ 3	ONSEN・ガストロノミーツーリズムの推進			600	600	600
◎ 4	クアオルトの推進			500	500	101
◎ 5	乗鞍エンジョイプロジェクトに対する助成			500	500	500

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		13,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
46,386	23,552	23,552	△ 10,430	
	100	100	△ 2,700	
46,386	23,452	23,452	△ 7,730	
査定額	説明			
14,452				
1,500	H30調査完了			
	H30調査完了			
600				
500				
500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設の入場者数や市内宿泊者数のデータ収集、交通量の調査、観光客へのアンケートなどにより、毎月の観光動向を把握した。 ・各種協議会等に参画し、様々なテーマでの誘客宣伝活動を実施した。 ・ユネスコ無形文化遺産登録を契機に関係自治体が連携し、広域周遊観光を促進するため各自自治体の展示施設等を巡る「飛越能ユネスコ5大祭常設展示館等周遊得トクチケット」を企画、販売した。 ・飛騨民俗村再整備計画を策定するための基本調査を実施した。 ・関係団体や事業者と連携し、春の高山祭の練習風景や屋台の修復等の現場訪問など、無形文化遺産を活用した特別ツアーを造成した。 ・おもてなしの文化を振興するため、芸妓の育成を行う団体の取り組みを支援した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・高山祭の屋台行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念した「高山祭屋台の総曳き揃え」など特別事業が開催されたことにより、平成29年の観光客入込者数が462万3千人と過去最高となった。 ・おもてなし文化後継者育成事業として講師を招聘し、総合的に伝統芸能を習得させることができた。 ・観光統計を踏まえ、多様化する観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。 ・飛騨民俗村再整備計画策定に係る基本調査では、来訪者のアンケート調査や周辺の現況調査のほか、地域住民等との意見交換など様々な情報収集を行うことができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設の入場者数や市内宿泊者数のデータ収集、交通量の調査、観光客へのアンケートなどにより、毎月の観光動向を把握するとともに、観光動態調査を実施した。 ・各種協議会等に参画し、様々なテーマでの誘客宣伝活動を実施した。 ・おもてなしの文化を振興するための、芸妓の育成を行う団体の取り組みを支援した。 ・奥飛騨温泉郷活性化基本構想を策定するための調査を実施した。 ・地域資源を活用した観光振興として、ONSEN・ガストロノミーツーリズムを推進するとともに、乗鞍エンジョイプロジェクトに対する助成を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・各種観光振興事業を推進することで、平成30年の観光客入込者数が444万人となった。 ・おもてなし文化後継者育成事業を実施し、総合的に伝統芸能を習得させることができた。 ・観光統計を踏まえ、多様化する観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。 ・奥飛騨温泉郷活性化基本構想策定に係る調査では、アンケート調査や現況調査のほか、地域住民等との意見交換など様々な情報収集を行うことができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・時代を先取りした観光地づくりの推進 ・山岳資源と温泉資源の活用
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・広域で連携した観光客誘致に必要な経費を計上 ・観光統計及び観光客の動態調査や交通量調査など観光関連情報の収集に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	62150 観光振興事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工観光部 観光課		
枝番・内容	1 観光動態調査		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費				
			<input type="checkbox"/> その他重要事業				項	2	観光費	内線	2216	
			<input type="checkbox"/>				目	1	観光振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・「飛騨高山」の認知度や来訪者の満足度、観光客が求めるものと現状とのギャップについての調査・高山を訪れる観光客の観光行動についての調査を実施し、ターゲットを明確にした効果的な情報発信につなげる。	概要	・インターネットや、スマートフォン位置情報によるビッグデータを活用した調査を実施する。
----	---	----	---

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	5,000
主な経費	・調査業務の委託	
対前年度増減額(当初予算)		5,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) H31.8時点 (千円)

予算額	当初	5,000
	繰越	
	補正等	
	最終	5,000
決算額		1,500
対前年度増減額(決算)		1,500

H31当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・観光客の観光行動についての調査 スマートフォンの位置情報を測定することにより、来訪者の性別・年齢などの属性、交通手段や移動経路などの情報や、観光スポットごとの利用者数などの情報をまとめてデータ化・分析	
[スケジュール] ・6月 調査業務実施事業者の選定 ・7月上旬 委託契約の締結 ・7月上旬～2月 調査業務の実施(情報収集、データ化、分析) ・2月～ 調査結果の活用(効果的な情報発信の検討など)	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・調査業務の実施 観光客2万1千人の観光動態調査を実施 発地分析 旅程分析 宿泊地分析 滞在時間分析 周遊エリアパターン分析 流入経路分析 など ・調査レポートの作成 調査結果をまとめた調査レポートを作成	
[評価] ・高山市を訪れた観光客の属性や動態を把握することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	62150 観光振興事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工観光部 観光課
枝番・内容	2 奥飛騨温泉郷活性化基本構想の策定		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線	2216	
		<input type="checkbox"/>		目		1	観光振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・奥飛騨温泉郷の実態や観光客のニーズを把握し、活性化にむけた今後の取り組みの基本となる構想(計画)を策定する。	概要	・活性化基本構想の策定に向け、観光客の動向やニーズ等を把握するための調査を実施する。
----	---	----	--

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	5,000
主な経費	・調査業務の委託 ・業者選定に係るプロポーザル審査会の開催	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) H31.8時点 (千円)

予算額	当初	5,000
	繰越	
	補正等	
	最終	5,000
決算額		4,968
対前年度増減額(決算)		4,968

H31当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥飛騨温泉郷地域の現状等の調査 観光客の動向 ニーズの把握(来訪者、非来訪者) 観光資源の調査 奥飛騨温泉郷に対する意識調査(旅行取扱事業者等) など ・地域住民、関係団体、事業者等との意見交換 ・プロポーザル方式による調査業務実施事業者の選定 <p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月 調査業務実施事業者の選定 ・7月～ 調査業務の実施 <p>※活性化基本構想については、今回の調査結果のほか、国(環境省)が実施する「国立公園満喫プロジェクト」に準じた取り組みや県が取り組む「中部山岳国立公園活性化基本構想」及び「実施計画」の動向を踏まえ、平成31年度に策定を予定。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査業務の実施 奥飛騨温泉郷の現状と課題 活性化のイメージ 活性化の視点と方針の考え方 活性化を推進するために ・地域住民、関係団体、事業者等との意見交換 ・奥飛騨温泉郷活性化基本構想策定に向けた企画書の作成 <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査による顧客のニーズ、現地確認による施設や交通などの現状が把握できた。 ・関係事業者や近隣住民等への個別取材や意見交換の場を通じ、今後の計画策定に向け、官民が連携するきっかけをつくることできた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	62150 観光振興事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工観光部 観光課
枝番・内容	3 ONSEN・ガストロノミーツーリズムの推進		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線	2218	
		<input type="checkbox"/>		目		1	観光振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・温泉地の価値を滞在型・体験型観光の宿泊拠点へと転換し、食を通じた新たな体験をインパウンドを含む観光客に提供し、地域活性化を図る。	概要	・市の資源である温泉、食、酒を活用したガストロノミーウォーキングイベントを実施する。
----	---	----	--

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	600
主な経費	・推進機構及び実行委員会負担金	
対前年度増減額(当初予算)		600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) H31.8時点 (千円)

予算額	当初	600
	繰越	
	補正等	
	最終	600
決算額		600
対前年度増減額(決算)		600

H31当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	600
主な経費	・推進機構及び実行委員会負担金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>・ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構と実行委員会(観光協会等が主体となって構成)の共催によるガストロノミーウォーキングイベントの開催</p> <p>「温泉地」の魅力と「地域資源(自然、食、文化・歴史等)」の魅力ウォーキングを通じて体感できるコースを設定し、参加者を募集して開催</p>	
<p>[スケジュール]</p> <p>・ONSEN・ガストロノミーウォーキングin奥飛驒・平湯温泉(平成30年5月19日開催)</p> <p>以降、年1回程度市内各所で開催予定</p>	

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <p>第1回ONSEN・ガストロノミーウォーキングin奥飛驒・平湯を開催 ・参加人数 550人 ・参加者に対して飛驒高山の食と温泉の魅力をPR</p> <p>[評価]</p> <p>・定員300人を大きく上回る550人が参加 ・参加者から好評であったとともに、地域の事業者の観光振興の機運が高まった。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>・ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構と実行委員会(観光協会等が主体となって構成)の共催によるガストロノミーウォーキングイベントの開催</p> <p>「温泉地」の魅力と「地域資源(自然、食、文化・歴史等)」の魅力ウォーキングを通じて体感できるコースを設定し、参加者を募集して開催</p>	
<p>[スケジュール]</p> <p>・ONSEN・ガストロノミーウォーキングin奥飛驒・平湯温泉(令和元年6月22日開催)</p>	

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	62150 観光振興事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工観光部 観光課
枝番・内容	4 クアオルトの推進		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線	2218	
		<input type="checkbox"/>		目		1	観光振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山市の森林や温泉等のさまざまな地域資源を活用し、健康増進を目的とした旅行(ヘルスツーリズム)による観光客誘致を図る。	概要	・ウォーキングを中心とした健康増進プログラムを楽しむ環境を整備する。
----	--	----	------------------------------------

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	500
主な経費	・先進地視察 ・協議会員負担金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) H31.8時点 (千円)

予算額	当初	500
	繰越	
	補正等	
	最終	500
決算額		101
対前年度増減額(決算)		101

H31当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	500
主な経費	・協議会員負担金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・地域資源を活用した健康づくりに取り組むクアオルトの構築 日本クアオルト協議会に加盟 他市との情報交換、視察 高山市独自のクアオルト構築の検討 具体的な取り組みに向けたクアオルト研究所等関係機関との調整	
[スケジュール] ・5月～ 実施自治体からの情報収集(山形県上市市、和歌山県田辺市、石川県珠洲市(ほか)) ・7月 先進地視察(山形県上市市を予定) ・7月～ 高山市独自のクアオルト構築に向けた検討 次年度以降の具体的な取り組みの検討 ・10月 日本クアオルト協議会全国大会視察(石川県珠洲市) ・12月 高山市独自のクアオルトの構築(方針決定) ・1月～ 具体的な取り組みに向けた準備(関係機関等との調整)	

事業実績・評価等	
[事業実績] ・クアオルトを先進的に取り組んでいる山形県上市市の取り組みについて情報収集を実施 [評価] ・山形県上市市の取り組みについて把握することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・地域資源を活用した健康づくりに取り組むクアオルトの構築 日本クアオルト協議会に加盟 他市との情報交換、視察 高山市独自のクアオルト構築の検討 具体的な取り組みに向けたクアオルト研究所等関係機関との調整	
[スケジュール] ・7月～ 実施自治体からの情報収集 ・8月～ 先進地視察 ・9月～ 高山市独自のクアオルト構築に向けた検討 ・12月～ 高山市独自のクアオルト構築(方針決定) ・1月～ 具体的な取り組みに向けた準備	

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	62150 観光振興事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工観光部 観光課
枝番・内容	5 乗鞍エンジョイプロジェクトに対する助成		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線	2218	
		<input type="checkbox"/>		目		1	観光振興費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・乗鞍岳及びその周辺の自然・歴史・文化等の地域資源を活用し、観光客を誘致し地域活性化につなげる。	概要	・乗鞍岳及びその周辺におけるイベントを支援する。
----	--	----	--------------------------

【参考】H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	500
主な経費	・乗鞍エンジョイプロジェクト協議会への補助金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) H31.8時点 (千円)

予算額	当初	500
	繰越	
	補正等	
	最終	500
決算額		500
対前年度増減額(決算)		500

H31当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	500
主な経費	・乗鞍エンジョイプロジェクト協議会への補助金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・乗鞍エンジョイプロジェクト協議会が実施するイベントの支援 乗鞍スカイライン早期開通事業 星空観察会 乗鞍岳五ノ池散策ツアー
[スケジュール]	・平成30年5月から実施

事業実績・評価等	
[事業実績]	・乗鞍岳への利用者増加を目的として、次の3つの事業を実施した。 乗鞍スカイライン早期開通 参加者396人 夫婦松星空観察会 参加者400人 乗鞍五ノ池植生調査・散策ツアー 参加者65人
[評価]	・乗鞍岳の入込者数が105,535人(前年比101.23%)となった。
次年度以降の考え方(担当課)	・乗鞍を地域特有の自然環境として保全と活用を図るため、同協議会が実施する乗鞍への集客を目的とした事業に対して今後も支援を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・乗鞍エンジョイプロジェクト協議会が実施するイベントの支援 乗鞍スカイライン早期開通事業 星空観察会 など
[スケジュール]	・令和元年4月から実施

事業シート(平成30年度決算)

事業名	62200 観光施設運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	6	商工費		個別分野	1	観光	
			項	2	観光費		施策概要	2	滞在型・通年型の観光地づくり	
			目	2	観光施設費		根拠計画	高山市産業振興計画		
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	観光施設を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・自然資源の活用施設や体験交流施設など観光施設を適切に管理運営する。
----	-----------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	462万人	444万人	452万人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職人員件費を除く)	H29			H30			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	308,152	302,549	231,420	251,296	233,029	△ 69,520	
特定財源							
国費 (観光施設整備事業費 1/2)	2,400	1,585	13,450	13,450			
県費 (新穂高温泉園地管理費等)	274	274	274	274	274	0	
その他(指定管理事業雑入(観光施設)、市債等)	61,858	59,148	46,009	52,509	33,181	△ 25,967	
一般財源	243,620	241,542	171,687	185,063	199,574	△ 41,968	
個票枝番	主な事業内容						
	観光施設の管理運営(指定管理)	114,100	113,762	115,120	117,520	117,482	3,720
◎ 1	施設整備	99,000	98,850	90,800	103,191	86,909	△ 11,941

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		205,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
304,871	208,170	208,170	△ 23,250	
			△ 13,450	
274	1,774	1,774	1,500	
38,163	54,928	54,928	8,919	
266,434	151,468	151,468	△ 20,219	
査定額	説明			
144,570				
63,600				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設26施設の管理運営(うち指定管理による運営23施設)を行った。 ・しぶきの湯遊湯館の空調設備更新や桜香の湯の浴室改修、奥飛騨温泉郷オートキャンプ場の下水道接続など、観光施設の維持修繕にかかる工事を実施した。 ・歴史街道を紹介する多言語観光案内看板を4箇所(丹生川、清見、荘川、国府)整備した。 ・休止施設(ホテルバスカル清見)の有効活用を図るため、民間事業者への譲渡を行った。 ・桜香の湯(荘川)としぶきの湯(国府)2つの温泉施設に民間事業者が提供する木質バイオマスなど自然エネルギーを活用した熱供給システムを導入した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・民間と競合する施設もあり、公共施設等総合管理計画に基づき一部の施設では譲渡等を検討していく必要がある。 ・指定管理者制度の導入により、利用者へのサービス向上や運営経費の縮減が図られている。 ・滞在型・通年型観光の推進のためにも、観光施設のさらなる有効活用は重要である。 ・老朽化が進む中、施設の計画的な修繕が必要となっている。 ・休止施設の活用策について検討が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に施設の修繕をすすめる。 ・休止施設の今後の活用策を検討する。 ・譲渡可能な施設の譲渡に向けた取り組みをすすめる。

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設26施設の管理運営(うち指定管理による運営23施設)を行った。 ・荘川の里の旧渡辺家屋根葺替など、観光施設の維持修繕にかかる工事を実施した。 ・奥飛騨温泉郷オートキャンプ場について民間事業者への譲渡を行った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・民間と競合する施設もあり、公共施設等総合管理計画に基づき一部の施設では譲渡等を検討していく必要がある。 ・指定管理者制度の導入により、利用者へのサービス向上や運営経費の縮減が図られている。 ・滞在型・通年型観光の推進のためにも、観光施設のさらなる有効活用は重要である。 ・老朽化が進む中、施設の計画的な修繕が必要となっている。 ・休止施設の活用策について検討が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に施設の修繕をすすめる。 ・休止施設の今後の活用策を検討する。 ・譲渡可能な施設の譲渡に向けた取り組みをすすめる。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・観光施設の運営及び施設整備に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	・施設整備は優先順位の高い箇所を実施
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成30年度決算)

事業名	62200 観光施設運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工観光部 観光課
枝番・内容	1 施設整備		<input checked="" type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線	2209	
		<input type="checkbox"/>		目		2	観光施設費	作成年月	R1.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然や歴史等を活用した施設観光の促進により、観光客の滞在や周遊を促すとともに満足度を高め、リピーターやファンづくりにつなげる。	概要	・観光施設の整備を実施する。
----	--	----	----------------

[参考] H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	94,000
	繰越	
	補正等	5,000
	最終	99,000
決算額		98,850
対前年度増減額(決算)		11,900

[参考] H30当初予算(Action) H30.3時点 (千円)

予算額	当初	90,800
主な経費	・観光施設の整備	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H30決算(Do-Check) H31.8時点 (千円)

予算額	当初	90,800
	繰越	
	補正等	12,391
	最終	103,191
決算額		86,909
対前年度増減額(決算)		△ 11,941

H31当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	63,600
主な経費	・観光施設の整備	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設整備 <ul style="list-style-type: none"> 観光案内看板多言語化 飛騨高山キャンプ場(倉庫解体) 乗鞍バスターミナル(屋根、エレベーター、浄化槽等) ジョイフル朴の木(浴場昇温設備) 森林公園大倉滝(屋根) バスカル清見キャンプ場(管理棟、バンガロー) 桜香の湯(ろ過機、浴室等) 荘川の里(門扉等) 胡桃島キャンプ場(火災警報設備) 七峰館(空調) 野麦峠の館(外壁、屋根) しぶきの湯遊湯館(空調機更新) 四十八滝公園(遊歩道等) 奥飛騨温泉郷オートキャンプ場(下水道管路) 	
[評価]	
・快適に利用いただける観光施設となるよう修繕することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に施設の修繕を進める。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設整備 <ul style="list-style-type: none"> 飛騨民俗村(旧若山家屋根葺き替え工事) ジョイフル朴の木(ベランダ放水工事ほか) 森林公園大倉滝(トイレ洋式化工事) バスカル清見キャンプ場(支障木等撤去工事) 荘川の里(旧渡辺家屋根等修繕工事) 胡桃島キャンプ場(展望台通路修繕工事) 七峰館(深井戸ポンプ取替工事) しぶきの湯遊湯館(和風露天風呂改修工事ほか) 四十八滝公園(遊歩道木橋修理工事) 奥飛騨オートキャンプ場(管理棟塗装工事ほか) 	
[スケジュール]	
・観光施設の利用状況の繁閑等を勘案しながら、早期発注に努めた。	

事業実績・評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設整備 <ul style="list-style-type: none"> 飛騨民俗村(旧若山家住宅修理工事) ジョイフル朴の木(ベランダ防水及び軒天修繕工事等) バスカル清見公園(遊具・支障木等撤去工事) 森林公園大倉滝(清見庵トイレ改修工事) 荘川の里(旧渡辺家屋根葺き替工事等) 桜香の湯(機械設備修繕工事等) 胡桃島キャンプ場(展望台歩道整備工事等) 七峰館(湯元深井戸ポンプ取替工事等) しぶきの湯遊湯館(和風露天風呂浴槽改修工事等) 宇津江四十八滝公園(遊歩道朝霧橋橋梁修繕工事等) 平湯大滝公園(電灯・動力低圧切替改修工事) 奥飛騨温泉郷オートキャンプ場(看板取替工事等) 	
[評価]	
・快適に利用いただける観光施設となるよう修繕することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に施設の修繕を進める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設整備 <ul style="list-style-type: none"> 飛騨民俗村(旧若山家住宅修理工事) ジョイフル朴の木(ベランダ防水工事等) 森林公園大倉滝(清見庵土間修繕工事) 桜香の湯(シャワー給湯配管漏水工事) 胡桃島キャンプ場(コテージ外壁塗装工事) 七峰館(屋上屋根防水修繕工事) しぶきの湯遊湯館(温泉ポンプ修繕工事等) 四十八滝公園(駐車場転落防止柵改修工事) 特選館あじか(空調設備設置工事等) 平湯大滝公園(県有トイレ修繕) 	
[スケジュール]	

事業シート(平成30年度決算)

事業名	62210 スキー場運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	6	商工費		個別分野	1	観光	
			項	2	観光費		施策概要	2	滞在型・通年型の観光地づくり	
			目	2	観光施設費		根拠計画	高山市産業振興計画		
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市営スキー場を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・モンデウス飛騨位山スノーパーク及びひだ舟山スノーリゾートアルコピアの管理運営を行う。
----	--------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	462万人	444万人	452万人

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		72,974	72,806	26,974	71,974	71,423	△ 1,383
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(観光施設使用料)	434	139	139	139	135	△ 4
一般財源		72,540	72,667	26,835	71,835	71,288	△ 1,379
個票枝番	主な事業内容						
	施設の管理運営(指定管理)	46,000	45,891	0	45,000	44,452	△ 1,439
	施設整備	26,000	25,942	26,000	26,000	25,998	56

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		19,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
48,307	23,204	23,204	△ 3,770	
138	139	139	0	
48,169	23,065	23,065	△ 3,770	
査定額	説明			
4,204				
19,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者により市営スキー場2施設(モンデウス飛騨位山スノーパーク・ひだ舟山スノーリゾートアルコピア)の運営を行った。 利用者の安全を確保するためのリフト修繕を実施した。 平成29年度利用者数 モンデウス飛騨位山スノーパーク 32,552人 飛騨舟山スノーリゾートアルコピア 29,766人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の観光収入の柱であり、関連する宿泊施設、飲食施設に経済効果を与えている。 地域にとっては重要な雇用の場であり、地域活性化施設としてのニーズが高い。 地域の学校のスキー研修等にも活用されており、冬期間の市民のスポーツレジャー施設となっている。 スキー人口の減少や雪不足による営業開始の遅れなどにより安定した収入の確保が難しく、スキー場の経営が困難となっているほか、民間事業者と競合する施設であり、施設の在り方を検討していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 市営スキー場の在り方を検討するとともに指定管理者制度による運営を実施していく。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者により市営スキー場2施設(モンデウス飛騨位山スノーパーク・ひだ舟山スノーリゾートアルコピア)の運営を行った。 利用者の安全を確保するためのリフト修繕を実施した。 平成30年度利用者数 モンデウス飛騨位山スノーパーク 29,863人 飛騨舟山スノーリゾートアルコピア 19,138人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の観光収入の柱であり、関連する宿泊施設、飲食施設に経済効果を与えている。 地域にとっては重要な雇用の場であり、地域活性化施設としてのニーズが高い。 地域の学校のスキー研修等にも活用されており、冬期間の市民のスポーツレジャー施設となっている。 スキー人口の減少や雪不足による営業開始の遅れなどにより安定した収入の確保が難しく、スキー場の経営が困難となっているほか、民間事業者と競合する施設であり、施設の在り方を検討していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 市営スキー場の在り方を検討するとともに指定管理者制度による運営を実施していく。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・リフト等施設の改修整備に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	・施設整備は優先順位の高い箇所を実施
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	62220 観光案内所運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
						款	6	商工費		個別分野	1	観光	
						項	2	観光費		施策概要	1	地域の魅力が伝わる観光地づくり	
						目	2	観光施設費		根拠計画	高山市産業振興計画		
担当課	商工観光部	観光課	内線	2216									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光客への適切な情報提供と案内を行うとともに、心のこもったおもてなしによる対応により、滞在の満足度を高める。	概要	・飛騨高山観光案内所及び新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営を行う。 ・まちかど観光案内所を設置し運営する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	462万人	444万人	452万人
高山市への再来訪の意向	98.4%	97.2%	98%

2.事業の実施結果等(Do)

		H29		H30			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		25,030	22,599	21,180	21,195	20,064	△ 2,535
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(入湯税等)	21,000	19,756	9,140	9,140	377	△ 19,379
一般財源		4,030	2,843	12,040	12,055	19,687	16,844
個票枝番	主な事業内容						
	観光案内所の管理運営(指定管理)	13,500	13,311	13,700	13,700	13,475	164
	まちかど観光案内所の管理運営	3,330	3,093	3,330	3,330	3,178	85
	新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営	4,150	3,302	4,150	4,165	3,411	109

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

H31予算		実施計画額		22,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
21,302	21,515	21,515	335	
12,272	8,800	8,800	△ 340	
9,030	12,715	12,715	675	
査定額	説明			
18,185				
3,330				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山観光案内所の指定管理による運営を行い、235,452人の利用があった。 ・駅周辺整備に伴い新しい飛騨高山観光案内所が完成したことを受け、木製家具等飛騨高山をPRする備品等の整備を行った。(9月30日に開所式を開催し業務を開始) ・古い町並のエリア内にまちかど観光案内所を設置し運営を行った。 ・新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)を直営で運営し、12,972人の利用があった。 ・新穂高センターの指定管理者の募集を行ったが、応募はなかった。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・高山駅周辺工事の影響で利用者が減少したものの、観光客のニーズは高く、観光の起点としての役割を果たしている。 ・飛騨の家具やベレットストーブを導入し、高山市の産業や環境保全に関する取り組みをPRしている。 ・新穂高センターの指定管理者の指定に向け、他施設とのグループ化など募集方法の見直しが必要となっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の観光案内所との連携を図りながら、広域観光案内の実現を図る。 ・利用者のニーズに合った観光案内をすると共に、国内外問わず、案内窓口の拠点として、利用者に再訪を促すことのできるような運営を図る。 ・新穂高センターへの指定管理導入をすすめる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山観光案内所の指定管理による運営を行い、236,057人の利用があった。 ・古い町並のエリア内にまちかど観光案内所を設置し運営を行った。 ・新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)を直営で運営し、12,049人の利用があった。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山観光案内所は、観光客のニーズが高く、観光の起点としての役割を果たしている。 ・飛騨の家具やベレットストーブを導入し、高山市の産業や環境保全に関する取り組みをPRしている。 ・新穂高センターの指定管理者の指定に向け、他施設とのグループ化など募集方法の見直しが必要となっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の観光案内所との連携を図りながら、広域観光案内の実現を図る。 ・利用者のニーズに合った観光案内をすると共に、国内外を問わず、案内窓口の拠点として、利用者に再訪を促すことのできるような運営を図る。 ・新穂高センターへの指定管理導入をすすめる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成30年度決算)

事業名	11100 一般管理費	予算	会計	11	観光施設事業特別会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	1	総務費		個別分野	1	観光	
			項	1	総務管理費		施策概要	2	滞在型・通年型の観光地づくり	
			目	1	一般管理費		根拠計画	高山市産業振興計画		
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・スキー場の経営により冬季の観光振興を図る。 ・大規模な駐車場の提供による利便性の向上により山岳観光への誘客を促進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍高原飛騨高山スキー場及びあかんだな駐車場の管理運営を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H29実績	H30実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	462万人	444万人	452万人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H29			H30		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	105,129	96,884	105,965	105,965	93,400	△ 3,484
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(駐車場使用料、リフト使用料、施設使用料 ほか)	105,129	96,884	105,965	105,965	93,400	△ 3,484
一般財源		0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容					
	乗鞍高原飛騨高山スキー場の管理運営	89,951	82,838	91,019	79,143	△ 3,695
	あかんだな駐車場の管理運営	15,178	14,046	14,946	14,257	211

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成31年度予算編成(Action)

(千円)

H31予算		実施計画額		94,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
97,082	92,057	92,057	△ 13,908	
97,082	92,057	92,057	△ 13,908	
0	0	0		
査定額	説明			
75,198				
15,349				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍高原飛騨高山スキー場を運営し、34,112人の利用があった。 ・あかんだな駐車場を運営し、登山客を中心に52,226台の利用があった。 ・乗鞍高原飛騨高山スキー場の高速リフト探索機(41台)の修繕を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・スキー人口の減少や雪不足などの影響で利用者が減少傾向にあるほか、民間事業者と競合する施設であることからスキー場の在り方を検討していく必要がある。 ・スキー場の運営は冬期間の観光振興、観光客誘致事業として重要な役割を担っているほか、隣接する乗鞍青少年交流の家利用者の重要な研修施設となっている。 ・大規模な駐車スペースを提供することにより、上高地や乗鞍岳をはじめとする山岳観光の拠点としての役割を担っている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <飛騨高山スキー場> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ・有益な誘客方法及びスキー場振興策を検討する。 ・老朽化した施設設備を計画的に修繕する。 <あかんだな駐車場> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・施設内設備の老朽化にも適切に対応しながら、利用者の利便性を重視した運営を行う。

5.平成30年度事業実績、評価等(Check) H31.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍高原飛騨高山スキー場を運営し、31,183人の利用があった。 ・あかんだな駐車場を運営し、登山客を中心に51,234台の利用があった。 ・乗鞍高原飛騨高山スキー場の高速ペアリフトの改修工事を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・スキー人口の減少や雪不足などの影響で利用者が減少傾向にあるほか、民間事業者と競合する施設であることからスキー場の在り方を検討していく必要がある。 ・スキー場の運営は冬期間の観光振興、観光客誘致事業として重要な役割を担っているほか、隣接する乗鞍青少年交流の家利用者の重要な研修施設となっている。 ・大規模な駐車スペースを提供することにより、上高地や乗鞍岳をはじめとする山岳観光の拠点としての役割を担っている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <飛騨高山スキー場> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 ・有益な誘客方法及びスキー場振興策を検討する。 ・老朽化した施設設備を計画的に修繕する。 <あかんだな駐車場> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 ・施設内設備の老朽化にも適切に対応しながら、利用者の利便性を重視した運営を行う。

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・時代を先取りした観光地づくりの推進
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営及び改修整備に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査
市長査定 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・財務部査定のとおり